

2023.1
第93号

ひの長寿の友

滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
日野町勤労福祉会館内
【発行】
日野町老人クラブ連合会
【責任者】
東川嘉一



写真提供 吉村仙一郎さん

卯年にあたり 「飛躍」の年に

日野町老人クラブ連合会
副会長 青木幹泰



皆様にはご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

皆様にはご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年中は日野町老人クラブ連合会の活動にご支援、ご協力を頂き厚くお礼申しあげます。

今年は卯年です。うさぎは温厚な性格であることから「家内安全」の意味を示し、また、その跳び姿から「飛躍」「向上」を象徴し、何事かに挑戦するのに最適な年といわれます。皆様も何か目標をもって、挑戦していく年にしていただければと思います。

さて、令和二年以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業遂行にも大きく制約を受けてきましたが、昨年は完全な終息とは言えない中ではあります、感染症対策を行い、また規模を縮小し、諸事業

を進めてまいりました。

皆様方も感染防止のため、外出を取りやめ自宅にこもりがちになつた経験をされたかと思いますが、このような時だからこそ、感染予防対策を完全にした前提の上、絆を中心とした老人クラブの活動で、元気な毎日を過ごしていこうではあります。

近年、日野町老人クラブ連合会員の減少化が進み町内七地区のうち、三地区のみが会員として活動されています。ただ、字単位で加入されているクラブや、個人会員さんもおられます。事業を実施しても参加人数が少なく、さみしさを感じます。会員の減少は他市町でも同様であり、減少の一つの理由として、「役員をすると事業の参加や人集めなど面倒なことが多いので…」という意見がありますが、お世話になつた先輩方へのお返しや、色々な事業に参加することにより、多くの学びや人の出会いがあり、良かつたと思える時がきっと来ると思います。

これからも「老人クラブは楽しいなあ」と思つていただける事業や出会いを作つてまいります。皆様のご理解、ご協力をお願ひします。

笑顔あふれる一年に

日野町長 堀江和博



謹んで新春
をお祝い申し
上げます。

日野町老人
クラブ連合会
の皆様におかれましては、旧年中
は温かいご指導とともに町政各般
に対して、ご理解、ご協力を賜り
ましたことに厚くお礼を申し上げ

さて、昨年も新型コロナウイル
スに翻弄された一年となりました
が、秋ごろから感染が落ち着きを
見せる中で、これまでストップし
ていた様々な恒例行事やイベント
が再開されました。町内でも運動
会や文化祭をはじめ、スポーツや
文化芸術に関するイベントが毎週

開催されるなど大いに賑わい、町
に笑顔があふれました。
感染症は周期的に流行を繰り返
すので、これからも注意は必要で
すが、その一方で、人が集い、語
らい、同じ時間と空間を共有する
場は、私達にとってかけがえのな
いものです。本年も引き続き、そ
れぞれが新しく知恵をしほり、感
染対策をしつかりおこなったうえ
で、行事やイベントなどを臆する
ことなく実施していくことが大
切だと考えております。

今年の干支は「卯（うさぎ）」

です。穏やかで温厚な性質とともに
に、その飛び姿から「飛躍」「向上」
を象徴するとされています。
コロナ禍を飛び越え、皆が穏や
かで笑顔あふれる一年にできれば
と思います。

本年もご指導、ご鞭撻を賜りま
すよう宜しくお願ひ申し上げま
す。



つなはぐ活動で絆を大切に

日野町社会福祉協議会会长 平尾義明



新年あけましておめでとうございま
す。老人クラブ連合会、会員の皆さまには輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ここ数年は、新年の挨拶も新型コロナウイルス感染症のことから

冊子では、「つながりをはぐくむ活動」を、略して「つなはぐ活動」の大
切さを発信しています。老若男女問わず、すべての世代が参加し、
つながりをはぐくむ活動「つなは
ぐ」の普及を目指しています。老
人クラブ連合会の皆さまも、地域
の人々が支え合う「つなはぐ」、仲
間と寄り添う「つなはぐ」、大切な人を想う「つなはぐ」。このよ
うに意識して「つなはぐ」を感じ
ていただきたいと思います。

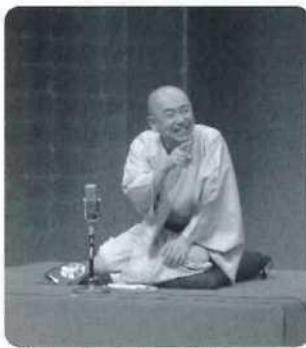
その様な中、社協では『あたら
しいつながりのはぐくみ手帳』

を町とともに発行しました。この
活かしていただき、引き続き地域

会員の皆さまにおかれまして
は、豊かな人生経験を地域社会で
満ちた素晴らしい一年となります
よう心からご祈念申し上げ、年頭



△曾羽貢さん(右)
猫田長寿会会長 伊澤善雄さん(左)



△てんご堂我楽さん

十一月十六日(水)栗東文化芸術会館さきらにおいて、「のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくり」をテーマに、第六十一回滋賀県老人クラブ大会が開催されました。県知事および県老ク連会長表彰が行われ、日野町から次の皆様が県老ク連会長表彰を受賞されました。

育成功労者 曾羽貢
優良老人クラブ 猫田長寿会
(伊澤善雄会長)

このたびの表彰を契機として、更にこれから活動を広め、魅力ある老人クラブ活動が展開される期待いたします。

二年前に縁あって雲迎寺の住職になられた経緯などをおもしろくお話をされました。衣装替えの後、出囃子(でばやし)にのり再登場、小話などを披露され、笑う事は健康に良い、毎日笑って長生きしましようと話されました。磨かれた話術や参加者とのかけ合いで会場は大爆笑となり、閉会しました。

△曾羽貢さん
△てんご堂我楽さん

九月十四日(水)に女性部十二名参加のもと、特別養護老人ホームの松と、わたむきの里グループホームのぞみを見学しました。

誉の松は何度か奉仕に入らせてもらっていましたが、施設の中を見学させていただき、お話を聞かせてもらうことができました。老後を楽しく、明るく生活を送るために喜ばれるホームを目指していると、自信を持って話されたことに何かあったかさを感じました。

△タオルを寄贈

日野町内にグループホームは、七ヶ所あると聞き、古民家を改築して開設されたホームもあるそうです。町内で空いてる民家を、福祉で活用されるのは、とても良い事だと感じました。

その後、竜王町のアグリパークで昼食を済ませ、いえきち農園で梨狩りをし、久しぶりに楽しい一日を女性部研修で過ごすことができました。

十一月十六日(水)栗東文化芸術会館さきらにおいて、「のばそう! 健康寿命、担おう! 地域づくり」をテーマに、第六十一回滋賀県老人クラブ大会が開催されました。県知事および県老ク連会長表彰が行われ、日野町から次の皆様が県老ク連会長表彰を受賞されました。

来賓あいさつ、大会宣言の後、講演があり、「人生一〇〇年時代と題して、日野町音羽の雲迎寺住職(久志則行さん)で嘶家のてんご堂我楽さんの講演と落語がありました。

各部活動だより

施設訪問研修に参加して
藤崎美代子



△誉の松で説明を受ける皆さん

女性部



△グループホームのぞみを見学

次に、わたむきの里グループホームのぞみを見学させていただきました。ここは、二〇一六年に開設されて、重度心身障害の方が対象で、特殊浴槽等の設備が完備され、一般的なホームとは違った介護職の方も、キーパーさんと一緒に支援をされているホームであると聞かせていただきました。

なホームと職の方も、キーパーさんと一緒に支援をされているホームであると聞かせていただきました。



第三位
優勝
準優勝
第三位

石原チーム（必佐）
増田チーム（必佐）
中山西チーム（必佐）

今年は、六チームが参加されました。さわやかな秋晴れの元、日々の練習の成果を發揮され、お元気になんと競技されました。成績は次のとおりです。おめでとうございました。

第四十回ゲートボール大会は、九月二十九日（木）に、日野ゲートボール連盟のご協力を得て、内池公園多目的広場で開催されました。

第四十回 ゲートボール大会

健
康
部



△第三位 中山西チーム



△準優勝 増田チーム



△優勝 石原チーム



十月二十六日（水）大谷公園グラウンドゴルフ場で、九十三名のご参加を得て、ふれあいグラウンドゴルフ大会が開催されました。晴天に恵まれ、地区を超えて会員同志が和気あいあいと親睦を深められ、ゲームを楽しまれました。成績は次のとおりです。おめでとうございました。

優勝　辻元守男さん（必佐）
準優勝　高岡光夫さん（必佐）
第三位　山添秀雄さん（必佐）

ふれあい グラウンドゴルフ大会

**ニュースポーツ用具
ご利用ください**

連合会では、ニュースポーツの用具を貸し出しています。

地区や単位クラブ、字でご利用ください。各会長さんから事務局までお申し込みください。

- ・体力測定用具
- ・マグダーツ
- ・マインディスティックカーリング
- ・スイングトスゲーム
- ・トリコロキューブ
- ・スポーツガラッキー
- ・新十箇・雅

【事務局】 ☎ 52-1219



△第三位
山添秀雄さん



△準優勝
高岡光夫さん



△優勝
辻元守男さん

健康づくり講習会

ニュースポーツ モルックを体験

がらも、闘志を燃やされ、和気あいあいと楽しく習得しておられました。

各地区にモルックを配付されますので、健康づくりに活用してください。

十二月一日（木）大谷公園体育館で、健康づくり講習会が開催され、二十四名が参加されました。

県老人クラブ連合会健康づくり推進員の青木洋八さんと原久美子さんのご指導をいただきました。

最初に健康体操で体をほぐし、続いてニュースポーツのモルックの講習を受けました。

モルックはフィンランドの伝統的な遊びを元に生まれたスポーツです。

モルックという棒を投げスキットルという棒を倒し、その棒の倒れ方により点数を獲得し、他のチームよりも先に五十点ちょうどを目指すゲームです。

四人がチームを組み、三チームづつ、二コートに分かれ体験されました。



△モルック



△慎重に狙いを定めて



△グラウンドゴルフ大会

十二月十四日（水）竜王町総合運動公園ドラゴンハットで、県老人連第三ブロック（近江八幡・竜王・日野）のグラウンドゴルフ大会と、ニュースポーツ講習会が開催されました。九十三名が集い、日野からは十五名が参加されました。

ドラゴンハット内のコースは、平坦でよく転がり、難しいのですが、日野の参加者も三名がホールインワンをされ、熱戦が繰り広げられました。

午後からは、モルックの講習が

第三ブロック グラウンドゴルフ大会と ニュースポーツ講習を開催

あり、他の市や町のみなさんと和やかに交流をしながら、体験をされていました。

底冷えのする大変寒い日になりました。少し早めに切り上げ、表彰式とラッキー賞の抽選が行われ、閉会しました。



△モルックの講習



ちょっとひとりきり
あ・た・ま・の体操
[第92号の回答]



△山崎万里さん

講演の後、聖徳太子一四〇〇年のテーマソングを制作され、歌唱されている「シュガーヒル」のみなさんの演奏がありました。フォーケソングやオリジナル曲、聖徳太子テーマソング「天子の雫」などが披露され、澄み渡った美しい歌声と、演奏を楽しんでおられました。

今年度のシルバー大学は、四回の講演と現地研修が行われました。第一回の十月三日（月）は、開校式の後、家庭栄養研究会顧問の山崎万里さんによる「新型コロナウイルス流行から何を学ぶか」と題して講演がありました。

ウイルスと共に生きるには、免疫力を正常に保つこと。そのためには、腸内環境を整えることが大切で、理想的な便が出る腸にする。「大便是体からの大きな便り」と分りやすくお話しには、免疫力を正常に保つこと。そのためには、腸内環境を整えることが大切で、理想的な便が出る腸にする。丁寧にお答えいただき、腸の重要性を再確認されていました。



△山本一博さん

第二回は、十月二十四日（月）に開催、元東近江市史編纂室長の山本一博さんによる「近江・日野の聖徳太子伝承」と題して講演がありました。今年、薨去一四〇〇年を迎える聖徳太子。近江には歴史文化遺産が多く残されており、湖東地方の歴史や、日野町小野の聖徳太子の腰掛け石や人魚塚などゆかりの紹介をいただき、興味深く聞いておられました。



△砂を使い指先や手で見事に描かれるサンドアート

第三回は、十一月十九日（土）日野町文化祭と共に開催されました。サンドアートという砂をつかい、指や手で絵を描き、照明をとおしてストーリーが展開していくものです。サンドアートパフォーマー集団シルト代表、船本恵太さんの、やさしい語り口と見事なパフォーマンスが披露されました。舞台で四名のみなさんが体験され、参加者は初めて見るサン

ドアートに感動されていました。その後、閉校式に移り、堀江和博町長のご挨拶と、東川会長の挨拶で今年度のシルバー大学が終了しました。



△眠る前のストレッチなども交え眠りの知識を講演 八木ミキさん



△シュガーヒルのみなさん

第四回は十一月二十八日（月）に開催、日本睡眠科学研究所認定スリープマスターの八木ミキさんによる「眠りの基礎知識 グッズり眠るためのヒミツを知ろう！」と題して講演がありました。最初に睡眠セミナーを開催されている西川文化財団の紹介があり、その後、睡眠の状況や役割などについてお話をいただきました。

入眠のコツは音や光、温度や湿度、香りやパジャマ、身体に合った寝具布団や枕など快適な環境を作る。寝る一時間前までにぬるめのお湯に入り、眠くなったら布団にはいる。また、寝る前にするとよいストレッチの実技も交え、お話をいただきました。

シルバー大学現地研修 聖徳太子の伝承を訪ねて

十一月九日(水) シルバー大学の現地研修として、聖徳太子の伝承を訪ねて、東近江市の瓦屋禅寺と竜王町の観音禅寺を訪問、三十二名のみなさんが参加されました。

八時三十分に日野町を出発、東近江市を一望できる山頂に位置する臨済宗妙心寺派の瓦屋禅寺を訪問されました。このお寺は聖徳太子が山中の土を用いて、瓦を十万六千枚以上造らせて、摂津(大阪)の四天王寺建立の際にその瓦を用いたのが寺名の由来とされる聖徳太子ゆかりのお寺です。

昼食は愛東ファームキッチン野菜花で、地元野菜を使つた手作りランチを楽しめました。

その後、竜王町の臨済宗妙心寺派観音禅寺を訪問されました。このお寺は、聖徳太子が自ら彫つたと伝えられる十一面觀音菩薩を秘仏本尊とするお寺で、戦乱の兵火にも焼かれず、火難水難を退け、厄除け、争い除け、人間關係改善などのご利益があると言われてています。

絶學ご住職の法話をお聞きし、高齢になると体は老いてくるが、心は人生経験から豊かになつていいのはず、これからも自信をもつて前向きに生きて行ってくださいとの言葉に勇気をいただきました。

両寺とも来年秘仏のご開帳を計画されています。

その後、アグリパーク竜王に寄りお買い物をされ、お天気に恵まれた現地研修の帰途につきました。



△東近江市
瓦屋禅寺



藤澤ご住職の般若心經の読経で、参加者の健康、長寿祈願をしていただき、お焼香をさせていた季節を迎えるお寺を後にしました。お寺の歴史などのお話を聞いていただき、まもなく紅葉の季節を迎えるお寺を後にしました。



△アグリパーク竜王にて

竜王町▷
観音禅寺



シルバー大学 アンケートから

・ 楽しみに毎年続けています。

・ どの回も興味深く参加させてもらいました。なかなか機会がないので音楽も樂しかった。

・ 勉強大好き。参加しないと意味がないです。

・ ここでしか聞けない話もあるのでこのまま続けてください。

・ 大切な活動です。止めることのないようにしてください。

・ 現地研修は大変良い。続けて欲しい。

・ 参加者が少ない。大ホールであるのなら参加者を増やす努力が必要。

老人クラブ連合会への意見

・ 「老人福祉法」できちんと認定された会です。これからもぜひ大事にしたい会です。いろいろためになることがいっぱいです。

・ んなにすばらしい会に入会しないと本当に惜しいと思います。

・ 脱会地区への再加入の申し込みと入っていたい人への説明運動をしてください。

・ 老人会はとても大切です。

・ 老人会に入会して、本当に友達も他地区の方とも知り合い楽しめます。

・ 老人会に対する皆さんの関心が極端に薄くなってきた。高齢化時代に重要なと思われるが、何とか考えなければ。



△3台のバスに乗車

十二月十七日（土）三年ぶりに日野町老人クラブ連合会の親睦旅行が行われ、個人会員も含め七地区全地区から七十七名のみなさんが参加されました。

コロナウイルス感染予防対策を徹底しながらバス三台に乗車。マキノピックランドでメタセコイア並木の散策と、福井県美浜町の千鳥苑で、冬の味覚かにの昼食、日本海さかな街でお買い物を楽しめました。福井県の「ふくいDeお得キャンペーン」が利用でき、

その後バスは若狭にむけて出発です。お待ちかねの冬の味覚かにの昼食が待っています。テーブルいっぱいにご馳走が並び、一足早くお正月気分を味わう事ができ、

その後バスは若狭にむけて出発です。お待ちかねの冬の味覚かにの昼食が待っています。テーブルいっぱいにご馳走が並び、一足早くお正月気分を味わう事ができ、



△メタセコイア並木で



△かにづくしのお料理



△久しぶりの旅行で、楽しく交流

親睦旅行

三年ぶりに実施
七十七名が楽しく交流

お得に旅行を楽しむことができました。大きな中のついた、かにづくしの料理を堪能され、久しぶりに出会う他地区の会員のみなさんとも、昔話に花を咲かせ、楽しく交流を深めておられました。

かに料理や友だちとの 出会いで大満足の旅に

鎌掛 竹村 久子

師走に入り、気ぜわしい十二月十七日、老ク連の親睦旅行に参加しました。当日の朝は曇り空でしたが、久しぶりの旅行なのでワクワクした気分でした。うつすらと雪化粧をした伊吹山を見ながら、琵琶湖大橋を渡り、バスは湖北へ向かいます。目的はメタセコイア並木です。もう散っているだろうなど期待半分で到着しました。バスから降りると目の前にあざやかな茜色のメタセコイア並木が私たちを待っていてくれました。アリガトウ。

コロナ禍が続く中、やつと三年ぶりに帰ってきた日野町老人クラブ連合会の親睦旅行。三台のバスで計七十七名の参加者は、「久しぶり!」「懐かしい」と会員同志の出会いに会場はまるで同窓会気分。

観光バスの旅行も久しぶりで、若いバスガイドさんの軽やかなガイドに琵琶湖の魅力を再発見しました。

まずはマキノ・メタセコイア並木を散策し、紅葉は終わつたものの

大満足でした。日野町に住んでいても久しぶりに出会う友だち、お互いに元気で過ごしている事を喜び合い、これからも親睦を深められたらと願っています。自分の健康に感謝し、老ク連の行事に参加できる事を幸せに感じ、日々精進していきたいです。

待ちに待った親睦旅行

必佐 三添 美紀代

来年は以前のような一泊旅行で出会えることを願つて帰路につきました。

個人会員の参加もあって意義ある親睦の機会でした。

の雄大な並木道に四季のドラマを感じました。福井に入ると道路沿いに積雪が見られる中、メインの若狭で冬の味覚「蟹」料理を堪能で年末年始のお買い物をし、両手にしつかり大きな袋を下げてバスに乗り込みました。



△3年ぶりのグランドゴルフ大会で和やかに交流

七月十七日には、誓敬寺で物故会員追悼法要を、三か寺の住職によるお経が唱えられる中で、四年ぶりに勤めることができました。この四年間に三十三名の方が物故会員となられました。生前、色々な行事や活動に参加され、頑張つてこられた物故会員を、遺族の方々と老人会とで偲ぶことができました。今後も仲間づくり、健康

コロナ禍のもとでこの間、老人会活動をはじめ会員と触れ合う機会は少なくなり、老人会総会も二年続々で書面議決となるほどでした。今年度は、コロナ感染の一定の収束もみられ、活動の再スタートを切ることができました。

グラウンドゴルフと 会員追悼法要久しぶりに 活動を再スタート

鎌掛地区老人会

對中 芳喜



△4年間の物故者を偲んで追悼法要を開催

地区・地域活動だより がんばっています



六月十三日、三年ぶりに鎌掛スポーツ広場で地区グラウンドゴルフ大会（老々連の大会への予選を兼ねる）を開催し、五十名余りの参加をいただきました。

久しぶりに出会い語り合えて、喜んでおられる姿や、一打一打に力がこもるプレーが随所で見受けられました。

づくり、生きがいづくりを何よりも大切にして、コロナ禍のもとでも共生できる努力を行い、人生の後半生を過ごせる活動をすすめていきたいと思います。

夏には今年も字福祉会と共に実施しました。今年は児童が少なく、小さい子ども達も参加できるように声かけして行っています。夏の早朝は気持ちのよいもので、多勢の人が参加し健康づくりをしていました。ラジオ体操は高齢者でも気軽にでき、電動車イスの方や老人車を押した方も、ベンチや椅子に腰かけ、座つて参加してください。

環境美化や ラジオ体操で健康づくり

下迫老人会

高嶋 清志

下迫老人会は、五月、十月、三月の年三回の環境美化作業に取り組んでいます。公園・遊園地やふれあいホールの除草作業や庭木の手入れ、町道のゴミ拾いを行っています。

五月の奉仕作業の後は、福祉会のサロンとして駐在さんに来ていただき、交通安全の話や、特殊詐

欺にあわないよう、犯罪被害者にならないようなどの講義を聞きました。

活動を通じて地域に貢献し、会員の親睦が深められたらと思っています。

老々連の会員を 募集しています

- ひとりぼっちは淋しいもの
- 声をかけ誘ってくれる
- 情報を届けてくれる
- 外出する機会が少なくなる高齢期に仲間がいることは大きな安心です。
- 一緒に楽しく活動しましょう

老々連では会員を募集しています。(個人会員 会費年間500円) 地区連合会が解散された地区的単位クラブや個人のみなさんなど、加入ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。

【事務局】 52-1219
(午前中勤務)



した。ださいまた語つてくださいました。



△日野菜の植付け作業

地域の伝承

深山口

日野菜原種組合

滋賀県日野町の日野菜

「近江日野産

日野菜」として地理的表示G.I.に登録されました。

その種が深山口で栽培されています。南北比都佐で続いた種作りは、一時、故田中保男さん一人になつたのですが、日野菜の原々種を守ろうと、深山口の十二戸、二十三人が、平成十七年七月に組合を発足させ、今に至つているのです。

伝統野菜の原々種を守つていくためには、交雑を避けることが大切であり、労力と時間、運営費等が必要です。後継者育成への不安等、課題は山積みですが、組合員一人一人の絆と誇りをもつて、湖国の伝統野菜である深山口の原々種の保存を継承していくべきたいと語つてくださいました。

ゲームは八ホールを三回行うタフなゲームとなり、プレーだけで二時間以上かかりましたが、かなり慣れておられるのか好スコア続出、記録カードを見るとホールインワンが十九個もありました。指定されたホールでは六個でした。

参加された方々は日頃の鍛錬があつてか、疲労の色をあまり感じることはありませんでした。日頃

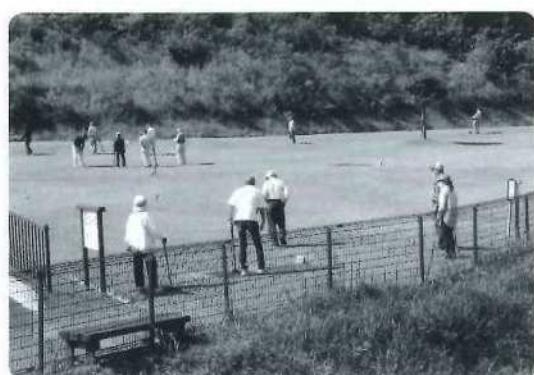
グラウンドゴルフで 地域交流会

必佐長寿会

橋本忍

九月二十六日(月)「必佐長寿会グラウンドゴルフ大会」を大谷公園グラウンドゴルフ場で開催しました。当日はお天気に恵まれ、秋晴れの下、「会員相互の親睦と明るく、楽しく健康に」をキーワードに挨拶も早々に、いざ! プレー開始! 参加者は十七地域から七十八名で、気温が高く、風も穏やかだったので、絶好のグラウンドゴルフ日和となりました。

参加された方々は、天然芝のピッチでプレーを楽しみ、白熱したゲームが行われ、コースの随所で日頃の「腕前」を披露されていました。



△絶好のお天気に好スコアが続出したグラウンドゴルフ大会

お花遊び教室を開催
美しさとかわいらしさにほっこりこり気分に

必佐長寿会女性部

森継公子

十月十五日(土)必佐長寿会女性部の研修会として、お花遊び教室を開催しました。

女性部の研修もコロナが中々収まらず、出かけるのも心配という声もあり地区内でこじんまりと出来る事はないかと考えている時



△かわいいアレンジフラワーを手ににこやかなみなさん

から鍛錬している人たちの姿を見つけて、運動の大切さを痛感させられました。

講師に県老人クラブ連合会の大城さんを招き、プリザーブドフラワーを使っての作品づくりをしました。先生から、この花は生の花を専用の溶液を使って加工された高価な花だとお聞きしました。

赤やピンク、黄のばらの花から好きな色を選び、そのばらの花を中心につなげました。先生から、この花を小さくして、それを組み合わせました。赤やピンク、黄のばらの花から好きな色を選び、そのばらの花を中心につなげました。先生から、この花を小さくして、それを組み合わせました。

美しさとかわいらしさにほっこりとした気分になりました。

老人クラブ連合会の会員であれば、県の老人クラブ連合会から材料費の補助を受けることもできるので、各地区の老人会でも開催されたいかがでしようか。

ウイズコロナで活動再開

大窪五区富久寿会

伴 祐郎

富久寿会は、現在会員四十名ですが、五名が九十歳以上と高齢化しています。

オミクロン株によるコロナ第八波の猛襲はあるものの、ワクチンのお陰もあり、重症化は低く、経済活動を重視する動きが、全国的に広がりはじめています。

富久寿会では、七月十日に、クレフィール湖東にて三年振りにグラウンドゴルフ大会を実施し、十五名の参加を得ました。ゴルフの後はホテルでの会食を楽しみました。

九月十六日は、「お楽しみ学習会」と称し、長寿福祉課の出前講座「認知症ってどんな病気?」をお願いし、十二名が参加しました。西大路にある「夢里」の社会福祉士、加藤所長にクイズ形式で、ユーモアをおりませ講演をいただきました。

高齢による物忘れと、認知症による物忘れの違い。認知症の人との接し方、認知症にならないための対策など、私たちが心掛けなけ

ればならない大切な話を聞くことができ、軽症のうちに発見し対策することが重要であることを知りました。

十一月十六日には、福祉バスで平和祈念館と近江八幡休暇村へ「日帰り研修親睦旅行」を開催しました。十五名が参加いただき、久しぶりの研修旅行で、交流ができ、皆さん喜んでおられました。



△研修旅行 平和祈念館で



△お楽しみ学習会で、認知症について学習

地域のいきいきさん

ファインダーがとらえる
感動に魅せられて

上駒月 吉村仙二郎さん

吉村仙二郎さんは、昭和十一年生まれの八十六歳。上駒月にお住まいの写真作家さんです。

終始穏やかな優しい笑顔で話して下さいました。

カメラとの出会いは、六十年前。初めて赴任した山の小学校で「旅行に行つたら写真とつて」という子どもの声で、はじめてカメラを手にしたのだそうです。その後、大津の写真クラブに入り、作品作りをはじめ、月一回のクラブの日が待ちどおしく、仕事をしながらの作品作りも楽しくてしようがなかつたといわれます。

今では、車に乗ることができなくなつたので、自転車やバスで行ける町内の身近なものが、被写体となり、そこに新しい魅力を発見することができ、見えなかつたものが見えてくるともいわれました。先日も、バスで



熊野の終点まで行き、過疎化した村の凜としたたずまいに感動したといわれ、培われた六年のカメラアイが切り取る被写体はどんなだろうと思わずにはいられませんでした。

沢山の作品を見せて下さり、「写真を趣味にしてきたから、今でも楽しく生活ができるし、夢をもつて生活ができる」「写真を観てくれてありがとうございます」とおっしゃるお顔からも声からも、写真への想いが伝わってきます。

お体を大切に、お元気でご活躍下さることをお祈りします。

県展無鑑査のカメラアンダルを沢山観せて下さいね。

(記 室田 容子)



趣味のひろば

[曳山模型]

西岡基七さん
鎌掛一区

俳

句



山村を包むがごとく初日の出

岡崎直次

軒渡る孕み猫かもゆつくりと

岡きみ江

湖を抱く銀嶺初景色

白井利子

一村へ一縷の日射し初景色

儀俄静枝

連れ添ひし夫と迎ふ年新た

花木逸子

掛け替えし旭日の軸淑氣満つ

寺澤京子



ちょっとひといき

あ・た・ま・の体操

春に関するクイズ

- ① 每年、春になれば桜の開花宣言がされます。この開花は1本の木にどのくらいの花が咲いたら開花とされるでしょうか？
 1. 1輪の花が咲いたとき
 2. 2~3輪の花が咲いたとき
 3. 5~6輪の花が咲いたとき
- ② 桜のソメイヨシノは、花が散った後はどうなるでしょうか？
 1. サクランボが実る
 2. 食べられないが実がなる
 3. 基本的に実はつけない
- ③ 「春一番」を歌った70年代を代表するアイドルグループはどれでしょうか？
 1. リンリン・ランラン
 2. ザ・リリーズ
 3. キャンディーズ

回答は、広報紙のどこかに隠れています。
探してくださいね。
第92号の間違い探しの回答は、5ページに
掲載しています。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナで始まり、コロナで終わったような一年でした。

昨年の四月に編集委員に任命されたものの、何も分からず戸惑うばかりでした。それでも仲間の編集委員さんや事務局の皆様のおかげで、無事一年間を終えることができました

原稿の依頼に快く協力して頂きました。まだまだ、コロナが吹き荒れています。インフルエンザの流行も予想されています。

皆様、お体には十分気を付けてお過ごしください。
いた皆様には深く感謝しております。

(広報編集委員 北西 明)

